

# 令和4年度 学校評価

## <学校教育目標>

1. 質素、忍耐、規律、思い やりを基軸とし、知性、 学識、健康、道義、友情の形成を高揚する。
2. 課程の如何を問わず、 常時一人もれなく学習生活の目標をもった生徒の教育を遂行する。
3. その他常に顧みて創立 の精神に徹した教育を 実践する。

## <各科共通目標>

1. 体育、文化面等に思い切り個性を伸ばし、幅広く楽しい高校生活の創造。
2. 事務系、実技系、あらゆる企業への完全就職。
3. 大学・短大の推薦入学や、看護医療系、美容系、食物系、教育系等の専門学校への進学。
4. 礼儀正しく、 節度ある良識人の育成。

## 普通科

- 進学・グローバルコース  
語学学習や文化交流において、国際感覚を身につけ、グローバル社会に対応できる人材を育てる。
- 観光・ビジネスコース  
地域と連携した学びを通し、地元で活躍できる人材を育てる。
- みらいくるコース  
自立支援や社会性の育成を行い確実な進路へ導く。

## 家庭科

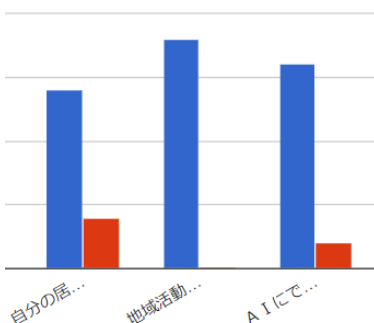
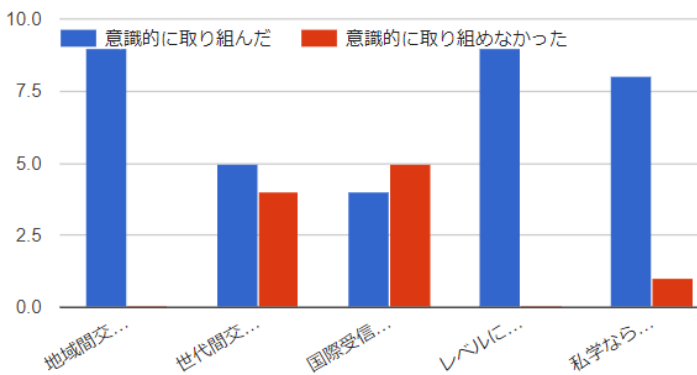
- ファッションデザインコース
  1. 被服全般に関する広い知識を身につける。
  2. 被服製作の技術を確実に身につける。
  3. 被服関連企業への就職又は、技術自営の出来る技能者となる。
- フードデザインコース
  1. 食に関する広い知識を身につける。
  2. 調理衛生の技術を確実に身につける。
  3. 調理関連企業への就職又は、技術自営の出来る技能者となる。
- 保育ふくしコース  
保育園児・高齢者との交流や様々な体験授業を通し、実践力を育む。また、興味・関心を追求し、将来の職業人としての自覚を育てる。

## 社会福祉科

1. 先ず、福祉の心、人間としての真の優しさを養う。
2. 福祉看護の基礎知識、基礎技術を身につける。
3. 介護福祉士の国家資格をとる。
4. 福祉・医療系の上級学校への進学。福祉関係職場に就職する。
5. 将来、福祉社会を支える人材となる。

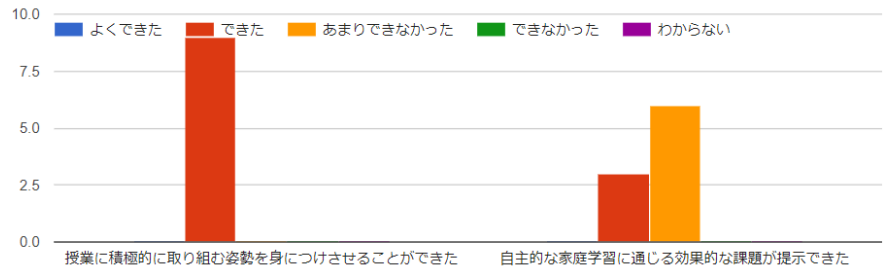
## 今年度の重点目標

- 地域間交流の意識啓発と活動
- 世代間交流の意識啓発と活動
- 国際受信・発信の意識啓発と活動
- レベルにあった学習支援
- 私学ならではの個性を引き出す教育
- 自分の居場所をつくることのできる環境の整備
- 地域活動・地域貢献できる人材を育成
- A I にできない人間力の育成

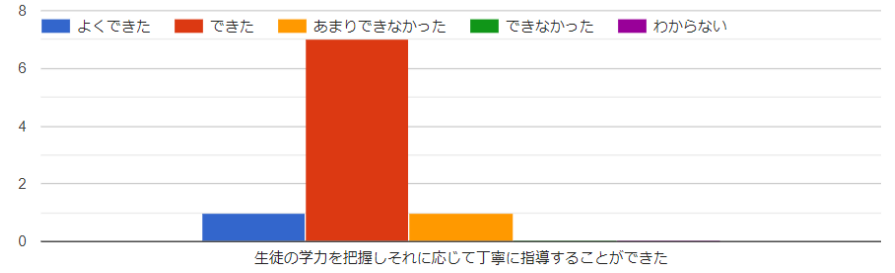


## <生徒の指導>

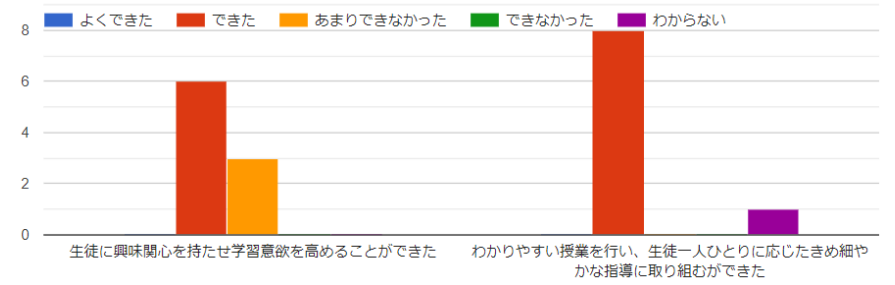
### (学習指導) 学習習慣の確立



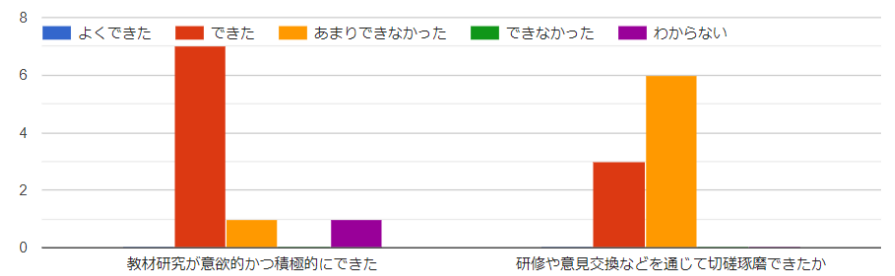
### (学習指導) 学力の向上



### (学習指導) 授業の工夫



### (学習指導) 教員の資質向上



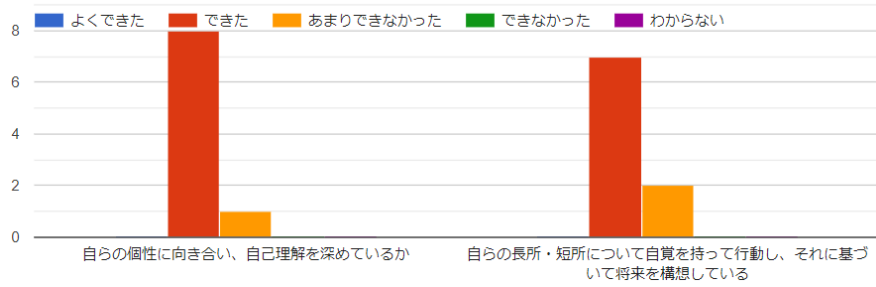
## 成果

- 発言が少ない生徒でもタブレットを使って発表をすることができた。
- 生徒はタブレットを使ってプレゼンテーション作成が上手になってきた。
- 数学を苦手とする生徒が、苦手ではなくなったり好きになって取り組んでいる様子が見られた。
- 教室にはいることができない生徒の担任の先生との連携や教室へ入れるような工夫を行った。
- 電子黒板等を利用し、効率的な授業展開ができた
- 社会福祉科の目標である国家試験合格に関しては、全員合格という成果をはたした。

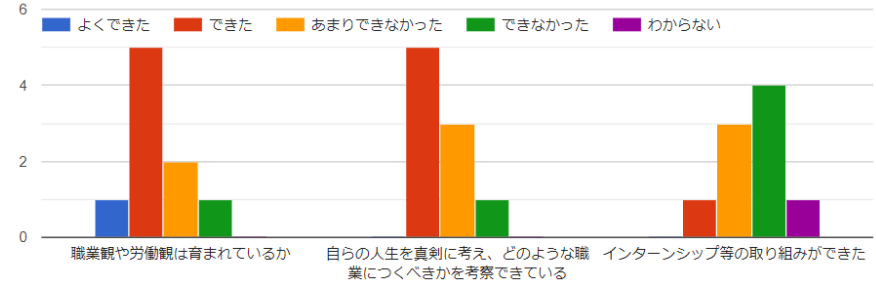
## 課題

- もう少し、電子黒板やタブレットを有効に活用していきたい
- 自らすすんで問題意識を持ち探究する力
- 常勤教員が一人のため、授業内容における教材研究などの意見交換ができていない。
- 別室利用や定期考査時の少人数教室利用の生徒が増えてきている。定期考査に関しては、予定者数全てが登校すると入らない状況が出てきている。小学校、中学校で別室利用していた生徒が多く入学している現状から、ゆくゆくは教室の工夫や特別支援担当の先生の配置を考えて欲しい。
- 実習物の製作において技量の差が激しく、一斉授業に加え個別指導が必要であった
- クロムブック等の活用が不十分であった。

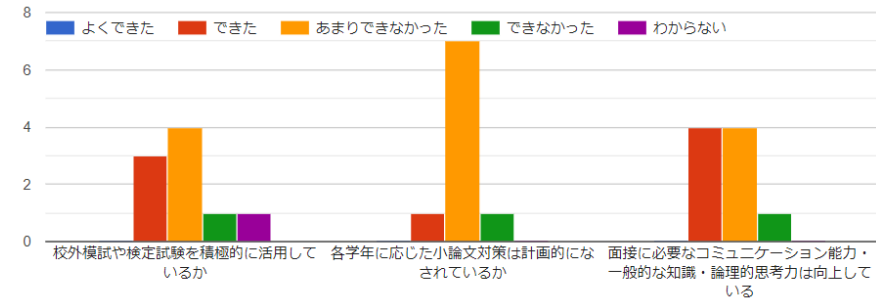
(進路指導) 自己理解



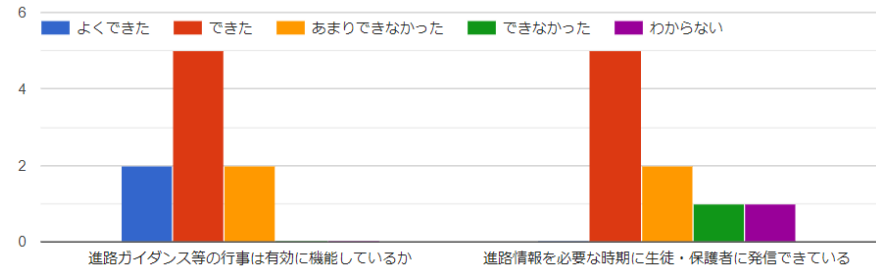
(進路指導) キャリア教育



(進路指導) 受験への対応策



(進路指導) 進路情報の提供



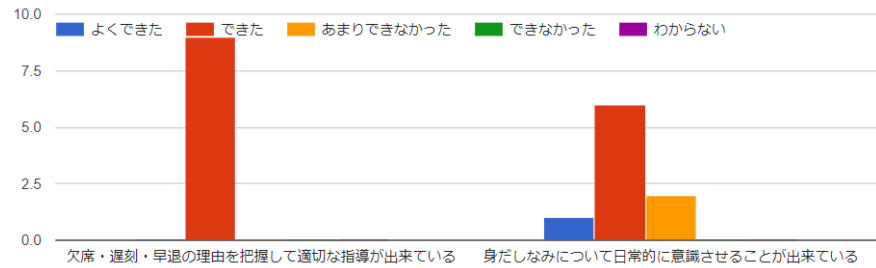
成果

- オープンキャンパスなどへ積極的に参加するようになった。
- 進路ガイダンスは充実している。生徒もガイダンスがあるたびに自らの将来について保健室に相談に来たりするので、効果的だと考える。
- 介護実習を通しキャリア教育やコミュニケーション能力の向上につなげることができた。

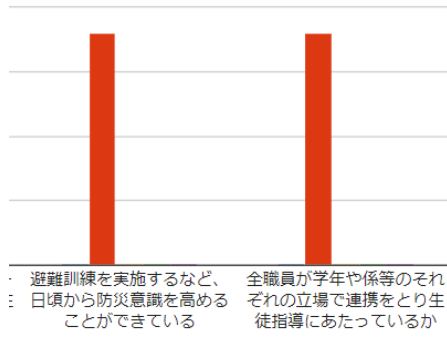
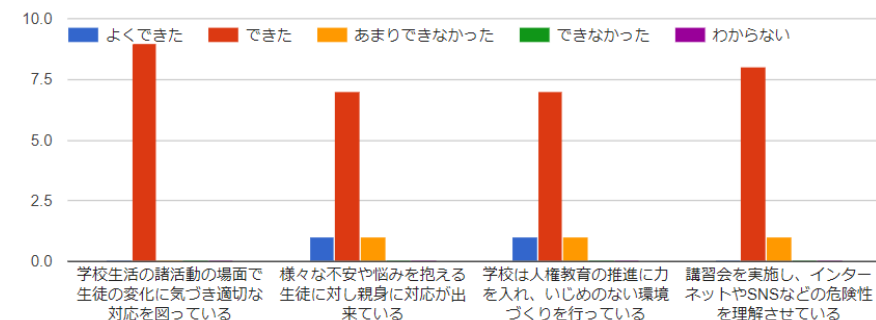
課題

- 受験科目への取り組み方が遅い。
- 一般就労が難しい生徒への進路指導が難しいように思う。
- 社会福祉科の生徒以外の生徒に対する支援が不十分であった。

(生徒指導) 基本的な生活習慣の確立



(生徒指導) 安心安全な環境づくり



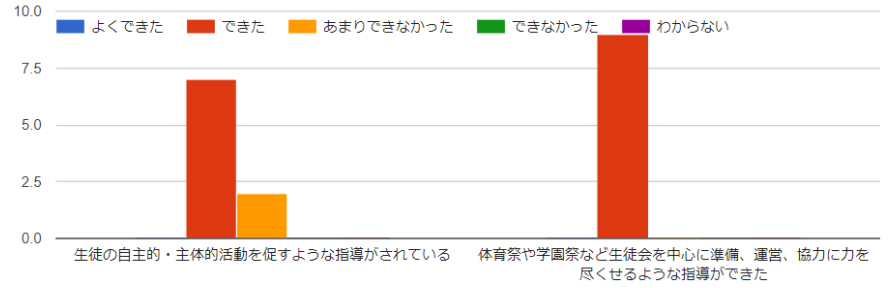
成果

- 先生方の連携はとれている。1年目の職員にも様々な共有をしてもらい、生徒のために動いている学校だと実感した。
- 社会福祉科の生徒に関しては適切な支援ができた。

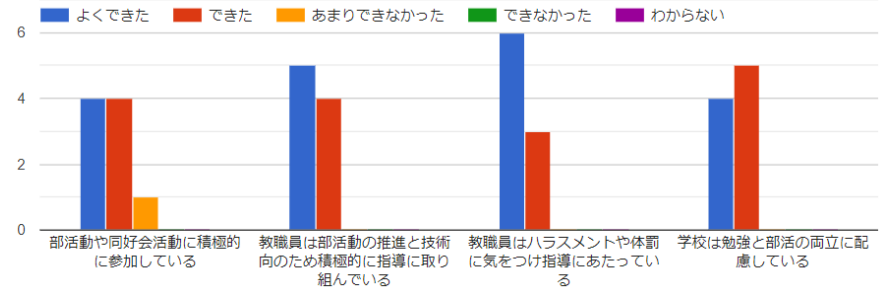
課題

- 一方、社会福祉科以外の生徒に関する取り組みは不十分であった。

(課外活動) 生徒会活動



(課外活動) 部活動など



成果

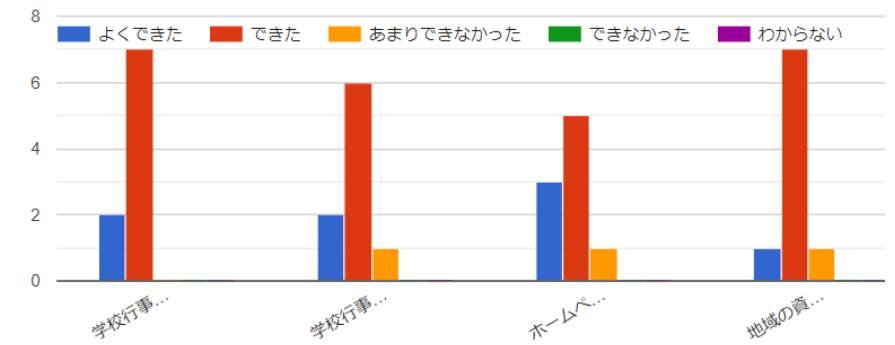
- ボランティア活動が盛んで、個人申込でも毎回希望者がいることには驚いた。
- 人権的配慮に関してはどの職員も丁寧に行っている。

課題

- ボランティア募集の時期が重なり、毎週末に何かしらのボランティアが入る月もあった(秋)。すべてのボランティアに参加するのではなく、数を絞ることも必要なかもしれない。
- 部活動に関しては自分が担当していないので、指導、支援ができていない。

<学校運営>

(家庭・地域との連携) 魅力ある開かれた学校づくり



- 学校行事への招待など積極的な世代間交流・地域間交流ができた
- 学校行事や授業を通し、国際受信・発信ができた
- ホームページ・赤レンガ・安心メール・学級・学年通信を通して各種情報を生徒、保護者、外部に発信できた
- 地域の資源を生かしながら地域貢献ができた。また、地域の資源を生かした活動ができた
- 学校と保護者教育委員会、同窓会の連携は円滑に機能している



## 成果

- 菊地市の様々な行事にご招待いただくのはありがたいことだと思う。
- ボランティア活動への促しを行い、参加する生徒が増えた。

## 課題

- 地域との交流に重きをおくと週末の活動が多くなる。生徒たちは菊池市外からの通学が割と多く、参加できない生徒もいる。
- ホームページやSNSなどの情報発信が苦手であまり活用できなかった。

## <理事長による所見>

地域に開かれ、地域と共存できる学校であると共に、時代に先駆けた人権意識と国際感覚を育てる学校を目指している。今年度の低評価の項目を高評価に上げるために改善すべきことを学校としても考えたい。